

在宅取組型(小学校)

学校名等	土岐市立下石小学校
実施日時	令和2年8月1日(土)～8月16日(日)
会場	各家庭
参加人数	261世帯の親子
学習課題(分野)	おうち先生から学ぼう!(家族の大切さ・思いやり)
運営者の願い	下石地区は、昔から自営で陶器を作っている家が多い「物づくりの町」で、1年から6年まで地場産業を学ぶ取組を行っている。「おうち先生から学ぼう!」は、そんな「物づくりの町」が元になって生まれた取組で、家族のだれかが先生になって得意なことを子どもに伝えて一緒に体験することで、家族の絆を深めてほしいと考えた。

学習の内容

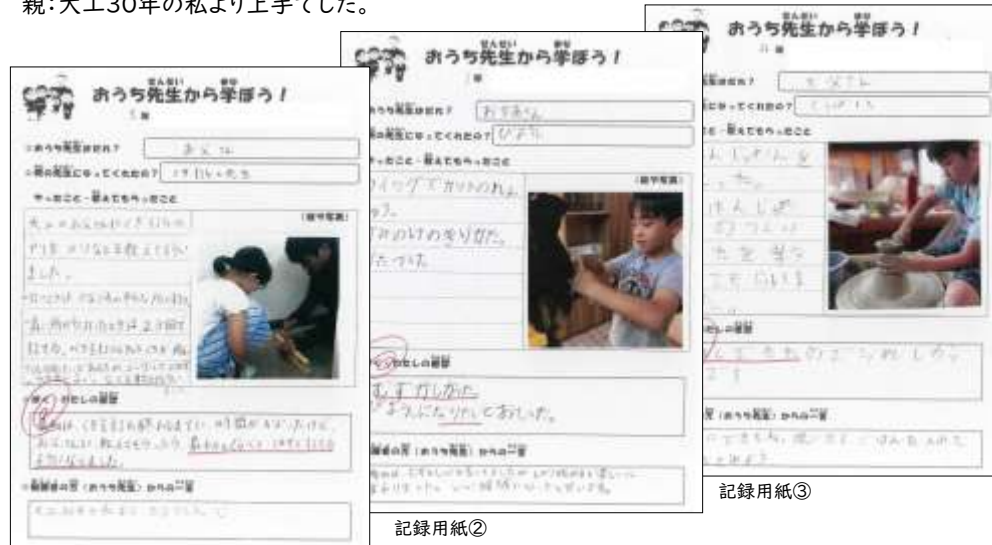
家族の得意なことを子どもに伝えて一緒に体験することで、家庭のつながりを大切にする家庭教育学級

<取組内容>

- ・家族のだれかが先生になって、子どもに得意なことを教える。
- ・子どもと一緒に体験し、共に過ごす機会にする。
- ・取組期間中の都合のよいときに実践し、記録用紙に絵や写真でまとめ、感想を書く。
- ・家庭教育委員会から、子ども達に、「おうち先生から学びましたで賞」の賞状を贈る。

<記録用紙の感想>

- ①陶芸家のお父さんから陶芸を学んで、ご飯茶碗を作った。
子:うまくできたので、うれしかったです。
親:上手にできたね。焼いたら、ごはんを入れて食べてみよう。
- ②美容師のお母さんから髪のカット方を学んで、ウィッグでカットの練習をした。
子:むずかしかった。美容師になりたいと思った。
親:初めはむずかしいと言っていましたが、切り始めると楽しく変わりました。いい経験になったと思います。
- ③大工のお父さんから、くぎ打ちのやり方とコツを教えてもらった。
子:最初は、くぎを打ち終わるまでに時間がかかったけど、お父さんに教えてもらったから、最初と比べて早く打てるようになりました。
親:大工30年の私より上手でした。



記録用紙①

記録用紙②

記録用紙③

<取組の成果>

- ・記録用紙に、教えてもらったことを絵や写真で記録し、感想を書いた。子ども達は、お母さん、お父さん、おばあちゃん、おじいちゃんから得意なことを学んで、温かい言葉をかけてもらった。取組を通して、家族の絆が深まった。



家族の絆の深まり

「陶芸家のお父さんから陶芸を学ぶ」「美容師のお母さんから髪のカット方を学ぶ」「おばあちゃんから裁縫を学ぶ」「おじいちゃんから釣りを学ぶ」等、家族の得意なことを学ぶことで、子どもが家族の良さに気づき、ふれあう機会が増えて、家族の絆が深まりました。



自己肯定感の育成

「上手にできたね」「素質があります」「完全にマスターできました」等、家族から温かい感想をもらった子ども達は、自分に自信をもつことができ、自己肯定感の高まりにつながりました。



思い出の共有

家庭教育委員会から賞状が贈られ、夏休みの素敵な思い出が認められたことで、家族みんなの、心に残る夏休みになりました。

